

国際かんがい排水委員会 (ICID) とは

参考1

- ICID (International Commission on Irrigation and Drainage) は、かんがい排水にかかる科学的・技術的知見により、食料や繊維の供給を世界規模で強化することを目的として、1950年に設立された自発的非営利・非政府国際機関。日本は1951年に加盟。
- 78の国・地域が加盟し、各国は国内委員会を設置。

毎年開催

国際執行理事会

常任委員会
(技術活動委員会等3委員会)

委員会
(広報出版委員会等3委員会)

地域作業部会
(アジア地域作業部会等4部会)

作業部会/作業チーム
(ほ場かんがいシステム部会
など)

3年毎に開催

総会

地域会議

世界かんがいフォーラム



国際執行理事会の様子(2019年、インドネシア・バリ)

日本国内委員会

学術経験者等をメンバーとし、かんがい・排水・洪水等に関する知見の情報の収集・発信

委員：渡邊紹裕委員長（熊本大学特任教授）等 17名

事務局：農林水産省農村振興局整備部設計課